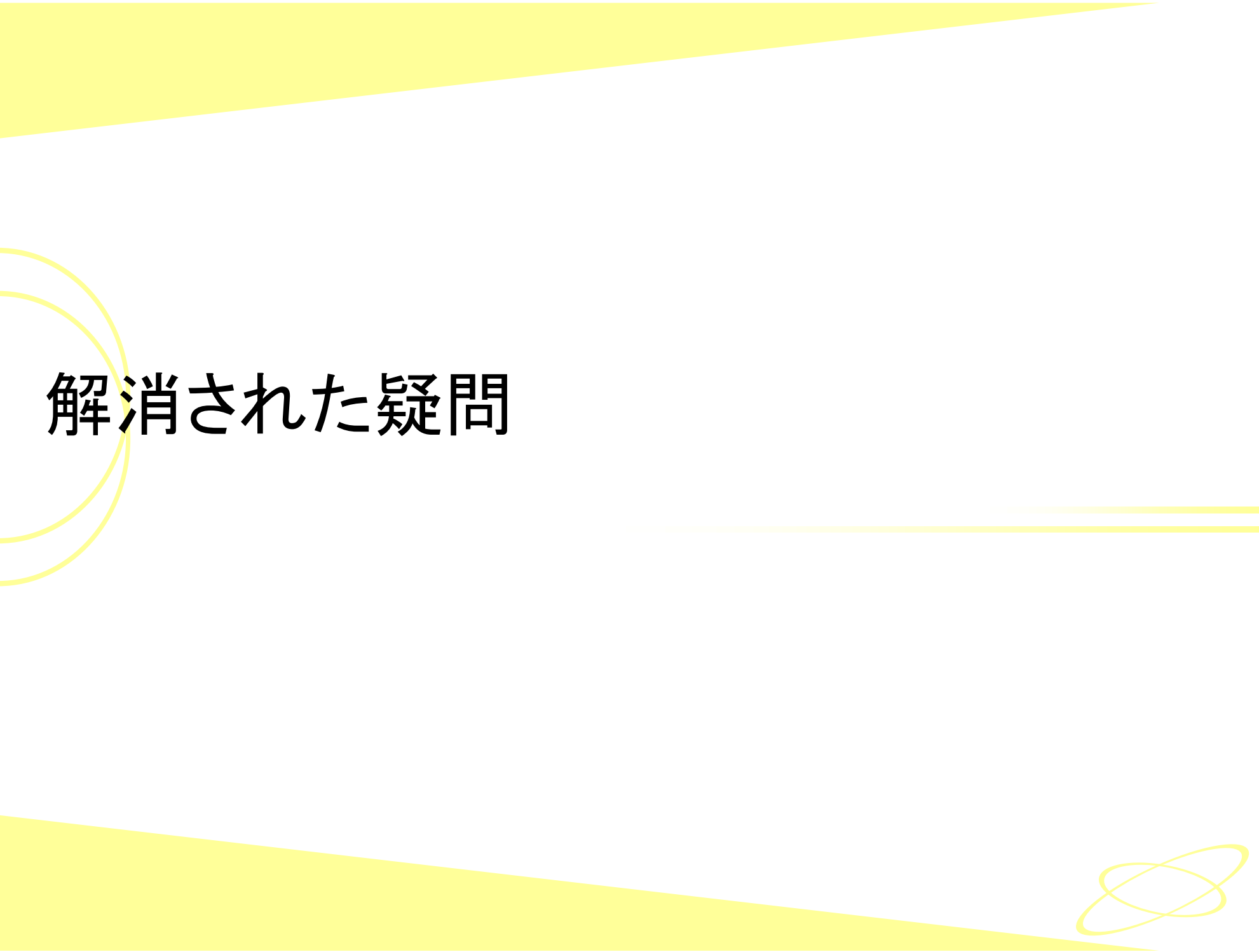


「人工島事業の理解のために」を読んで



解消された疑問

岩田委員(解消された疑問)

1. 干潟を見る(観察会)
2. 各委員への外部からのアプローチは慎重になるべき。

高江洲委員(解消された疑問)

1. 「事業の大きな目的は？浚渫土砂の捨て場となっていないか」
⇒事業の大きな目的は2つ。本島中部圏東海岸域の振興、活性化の起爆剤、FTZへの船舶入港を可能とし、その機能を早期に発現すること。
2. 「新港地区の計画(概要)はどうなっているか」
⇒事業の意義の中で説明されている(P6~7参照)
3. 「新港地区の利用状況」
⇒事業の意義の中で説明されている(P6~7参照)
4. 「必要となる金額はいくらか、下水に区画整理」
⇒埋立造成の総事業費、約489億円(国 308億円、県181億円)上下水道等のインフラ整備の当市負担約91億円。埋立後の市の用地購入費用約184億円(なんでもQ&Aより)
5. 「何を持って雇用拡大なのか」
⇒人工島内の宿泊施設、商業施設、業務研究施設、教育施設が出来る事により雇用の拡大に繋がる。ただし、推計数値がないため根拠に乏しい。

高江洲委員(解消された疑問)

6. 「事業(リゾート施設、ホテル等)の需要予想」

⇒沖縄県観光振興基本計画から、事業完成時の観光入域数は約650万人と予測。年間を通して約2,067万人・泊程度と推計(3.18泊?その理解でよい?)。泡瀬地区で56万人・泊及び宿泊施設1,275室の計画となっている。(なんでもQ&Aより)

7. 「希少生物はどれだけいる？」

⇒魚類3種、甲殻類11種、貝類99種(うち絶滅危惧IA類2種、IB類14種、絶滅危惧種25種)の合計113種。平成17年12月、平成18年3月に県知事報告済み。引き続き監査調査で存在が確認できれば追加報告及び保全予定。

藤田委員(解消された疑問)

1. 事業の概要、意義、土地利用、環境への配慮に関する事業者側(沖縄市, 沖縄県, 沖縄総合事務局)の考え方についてはよく理解することができた(データの表示根拠や算出基準などが理解できたという意味ではない)。

藁科委員(解消された疑問)

1. 希少生物はどれだけいる？

⇒魚類3種、甲殻類11種、貝類99種、合計113種 (P29 他ソースでも確認すべき)

2. 過去のアンケート

⇒みなとまちづくり懇談会でのアンケート結果 (マリンシティー泡瀬Q&A P13 ただし他にも必要)

3. 米軍用地の共用使用地について

⇒主に電波障害を防止する為の高さ制限 レクリエーション施設として利用 (マリンシティー泡瀬Q&A P22)

4. 1275部屋のホテルのイメージコンセプト

⇒人口現状から想定？ (マリンシティー泡瀬Q&A P7 ただし根拠になってない)

5. 事業(リゾート施設・ホテル等)の需要予測

⇒泡瀬地区 約56万人・泊(マリンシティー泡瀬Q&A P7 ただし数字は検証が必要)

藁科委員（解消された疑問）

6. 市の財政負担・必要となる金額はいくら？

⇒インフラ施設に91億円、市の用地購入費用は184億円（マリンシティー泡瀬 Q&A P20 他の費用があるかは不明）

7. 環境影響評価は正しく行われたか

⇒一般的に認知されていた手法での調査・予測・評価（P27 ただし確認が必要）

8. 環境保全対策はどのような事がかんがえられているのか

⇒海草の手植え移植、トカゲハゼの放流、人工干潟の造成、野鳥園、海浜生物の樹林、藻場の創造（複数ページ ただし、それぞれ内容を精査する必要あり）

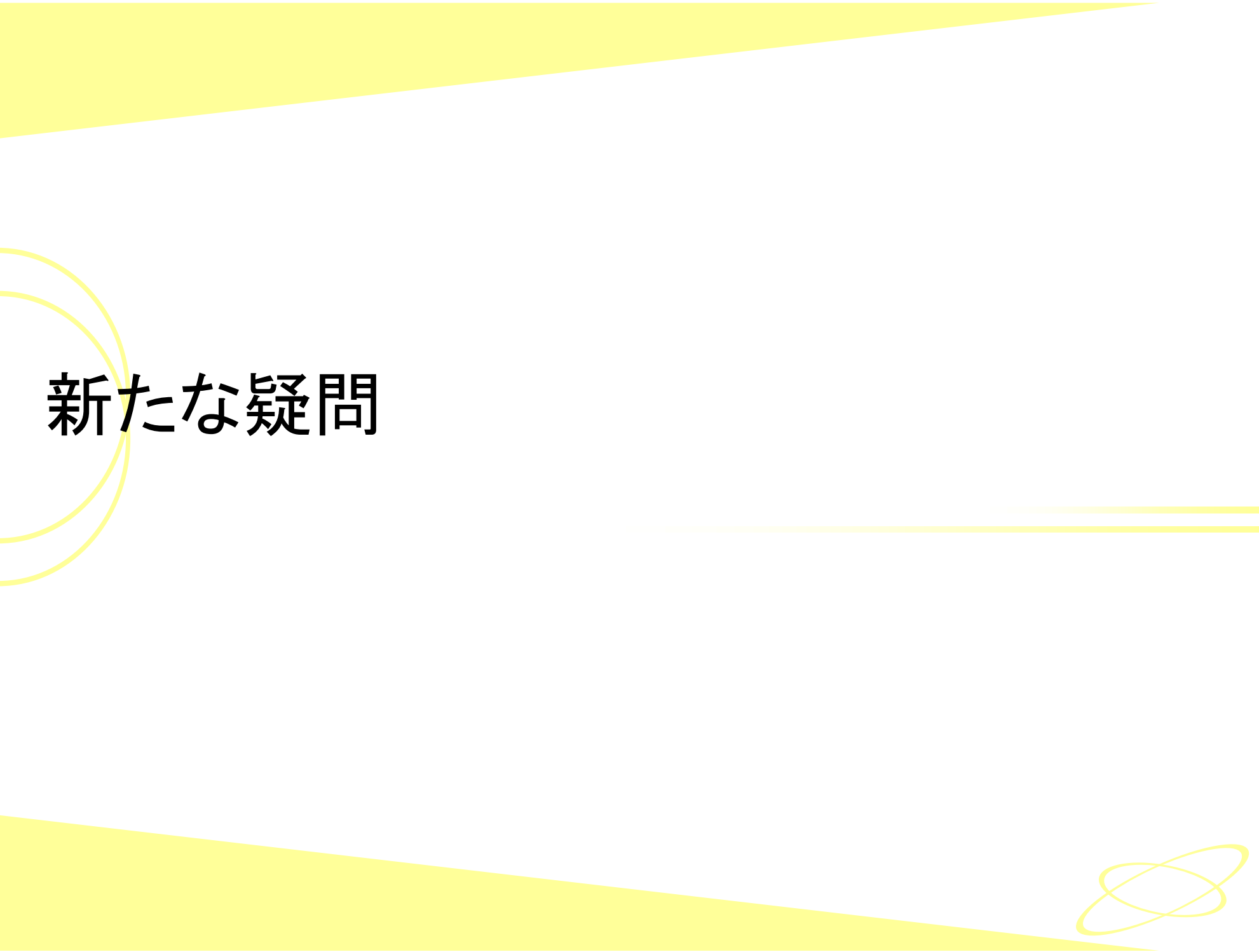
9. 国・県としての本事業に対する意見

⇒市・県の政策

→『埋立地を有効に活用して地域の振興を図り、市勢の発展を図ること』

⇒国・県の政策

→『新港地区FTZ前面岸壁を機能させる為に必要な航路・泊地からの浚渫土砂を処分すること』（P16ほか複数）



新たな疑問

伊良部委員(新たな疑問等)

1. 事業の大きな2つの目的について

国際交流や海洋性レクリエーション活動の拠点、地域における情報・教育・文化の拠点を整備していくことにより、沖縄市のみならず、本島中部圏東海岸地域の振興・活性化の起爆剤としていく、としている。現在、その利用計画は不透明となっており、「埋立てをしてから利用計画を考えればよいのではないか」と巨費を投じる事業に対し、極めて無責任な発言も聞こえております。利用計画の信憑性に大きな疑問を感じており、事務局から、以下の疑問点について資料の提出をお願いします。

伊良部委員(新たな疑問等)

- ① 「国際観光文化都市」の実現に向け、海に開かれた国際交流リゾート拠点の形成を目指し、沖縄県のリーディング産業である観光・リゾート産業の誘致するとの構想には賛成です。しかし、東部海浜開発計画における観光集客の実現性、ミュージックタウンなどと連携した雇用促進、経済活性化が図られるとする具体的な計画が見えない。交通の不便な出島式埋立地に作る国際交流施設や情報・教育等施設が、東海岸地域の振興・活性化の起爆剤となるとは思えない。計画が活性化の起爆剤になるとしている理由を示した具体的な資料を出していただきたい。
- ② 海洋性レクリエーション活動の拠点としているが、隣接する泡瀬マリーナ、他地域のマリーナ等と競合する中で、東部海浜地区が拠点になるとは考えにくい。また、どうしても建設が必要というなら、新たに埋立てをしなくても特別貿易地域の敷地等を利活用することも検討すべきであり、必ずしも新たな埋立地でなければならないことにはならない。東部海浜埋立地区に作ることの優位性と必要性があるとする理由を示した資料を出していただきたい。

伊良部委員(新たな疑問等)

- ③ 事業の目玉に人工ビーチを挙げているが、他地域の実例が証明しているように海水は濁りやすいなど透明度が悪く、自然の美しいビーチが身近にある中で、観光客がリピーターとして訪ねたくなる魅力あるものにはならない。また、沖縄市の近くにはサンセットが眺められる宜野湾トロピカルビーチ、北谷サンセットビーチなど競合するビーチがあり、東部海浜に作る人工ビーチで観光客を集められるとしていることを市民が納得できる資料を出していただきたい。
- ④ 沖縄観光ブームにあって、宮古島市においても人工ビーチを作りホテル誘致を目指したが、未だに実現できる見込が無く、市の財政悪化の元凶になっている。ホテルを建設するとしているが、実現の見込みはあるのか。持続的な観光の集客を実現させるにはリピート率を上げる必要があり、東部海浜開発計画に魅力を感じ採算が見込めると、ホテル建設の名乗りを上げている企業はあるのか。

伊良部委員(新たな疑問等)

- ⑤ 市民、県民の憩いの場を創出し、中心市街地と連結し賑わいと活気に満ちた街並みを形成するとしているが、地元客だけでなく大量の観光客が来場するディズニーランドのような魅力的な場所にならないければ、中心市街地と連結する賑わいは実現できない。海浜開発計画の中に中部圏域の発展を掲げているが、北谷アメリカンビレッジに人が集まっても沖縄市の中心市街地には人は集まらない。東部海浜事業計画に賑わいのあるチャンプルーヴィレッジを計画しているが、誰が作るのか。中心市街地と連結できる計画とはどのようなものか。その資料を提出していただきたい。
- ⑥ 沖縄観光の発展からホテルの需要予測を挙げているが、市民のアンケート調査からも明らかなように東南植物楽園以外に魅力的な観光資源が無く、素通り型観光となっている課題が解消できていない中で、ホテルの需要予測は厳しいのではないか。中の町ミュージックタウンにホテル建設を本土企業に打診したが、全て断られたことがそれを証明している。中部圏域にある他地域の観光資源を挙げて、沖縄市の観光集客が伸びるとしているが、勝連城跡、中城城跡を訪れても沖縄市に来るとは限らない。また、狭い会場で行われるエイサー祭り等は通年を通して観られるものではなく観光資源として活かしていない現状で、観光客誘致の受け皿になるとは思えない。集客の受け皿になるとする資料を出していただきたい。

伊良部委員(新たな疑問等)

- ⑦ 開発が実現したときの効果として、宿泊施設、商業施設、業務研究施設、教育施設ができることで、雇用の場が創出され、中部東海岸の活性化が出来るとしているが、宿泊施設の誘致は見込が厳しく、商業施設も観光客を集客できるような魅力的な具体的プランが無い状況で、見通しは極めて甘いと言わざるを得ない。教育、研究施設は税金で支えるものであり市民、県民に新たな負担を負わせることになる。また、長年に亘り開発を巡って最大の問題となっている干潟を埋めて教育施設を作るというのはおかしいのではないか。
- ⑧ 利用計画の中に、教育施設だけでなく、相当数の住宅地も作るとしているが、人が作った史跡、遺跡を壊して住宅用地を作るだろうか。八重山では、石垣空港の延伸先に遺跡があったから滑走路の拡張が出来なかった。少なくなった干潟は人が作った史跡、遺跡以上に価値があるものであり、開発計画にある教育、住宅用地は干潟を埋立てするに値する事業とは思えない。干潟埋立てに値する事業であるとした資料を出していただきたい。

伊良部委員(新たな疑問等)

- ⑨ 道路等のインフラ整備に約91億円を市が負担するとしているが、ランニングコストとして海浜公園と人工ビーチの環境等を維持するために管理事務所を置くことが必要となり、維持管理への新たな税負担が発生するのではないか。こどもの国やコリンザ等の赤字が沖縄市の財政を圧迫しており、新たな財政負担が発生することになるのではないか。多目的広場用地について、沖縄市のサッカー場、市競技場、県総合運動公園では不十分としているが、他市町村の中に、市町村の総合運動公園と県の総合運動公園がある自治体がどれくらいあるだろうか。沖縄市は県下で一番恵まれているのではないか。
- ⑩ 多目的広場を作るために史跡、遺跡を壊す自治体があるだろうか。干潟を埋立てするに値する土地利用とは思えないが、市は用地が無いことを理由に、遺跡や史跡の上に広場を作るのだろうか。市民のアンケートにある公園の設置は埋立てを前提にしており、アンケートでは埋立ての是非は問われていない。干潟埋立の利用計画に相応しいとした市はどのような考えの下に干潟の上に多目的広場を作るのか。
- ⑪ 埠頭を建設し、国内外の観光クルーズ船を就航させるとしているが、新港地区でも良いのではないかと。新港は駄目で泡瀬埋立地区に作る理由を明らかにしていただきたい。泡瀬埋立地区に作る埠頭にクルーズ船を就航させる企業はあるのか。

伊良部委員(新たな疑問等)

2. 「理解のために」の精査についてマッピングを作りたいと、前回の検討会議で決まらなかった筈。検討会議が終わって、委員や市民から検討会議が何をしたいのか分からないという声が出ております。マッピングでの資料の検討は、本題に進むのに時間が掛かり、精査の焦点がぼけてしまいます。長年に亘り、賛否で市民を分裂させてきた開発事業の中身をマッピングではなく、資料に書いてあるページに従って、丁寧に精査すべきというのが私の意見です。

岩田委員(新たな疑問等)

1. (1ページ) 沖縄市・沖縄県・沖縄総合事務局、いったいどこが主体となって立案しているのか？
2. (1ページ) うるま市は新港地区の半分とFTZを抱える。うるま市の姿勢は？全く関与していないのか？
3. (6.および7ページ) FTZをどう生かすのか、その活用方法やビジョンがまるで書かれていないが？
4. (7ページ) 県としてもFTZや新港地区の計画見直しの必要があるとの報道があったが、県関係者の意見が聞きたい。
5. (11ページ) 沖縄市を訪れる観光客は2割ではないのでは？(県外客の割合データは、母数が100でない上に、単純に足し算で沖縄市周辺を訪れた人23.2%で、しかも厳密に沖縄市なのは東南植物楽園とコザだけという…。実際は7.9%ということに。)
6. (12ページ) 人口当たりの宿泊施設数比較の意味は？宿泊客は市内の人ではないはず。

岩田委員(新たな疑問等)

7. (13ページ)人口当たり・面積当たりの海岸線比較の意味は？実際8kmは少ないのか？
8. (14ページ)なぜ、そんなにも海岸線が不足していることを問題視するのか？なぜ海岸線を増やすことが雇用創出に繋がるのか？海岸線にこだわるのはなぜか？
9. (16ページ)本当に誘致活動を全くしていないのですか？(というか、このAはQに答えていませんよね)
10. (19ページ)周辺環境整備のイメージ図、広い護岸・駐車場に必要な土地はどこから湧いて来たのか？
11. (19.および20ページ) 周辺環境整備は埋立に関係なく、今すぐにできることなのでは？
12. (23ページ)200m沖合なら大丈夫とする根拠は？
13. (24ページ)「環境保全・創造検討委員会」とは？今も機能しているのなら、本検討会議と連携する事も必要か。

岩田委員(新たな疑問等)

14. (25ページ)新港地区人工干潟とあるが、あれは干潟と呼んでいいのか？
15. (37ページ)埋立による影響を考慮する必要はないのか？
16. (41ページ)工事着手後に全エリアで海草が減少しているが、工事が原因と書かない意図は？事実をちゃんと書こう。
17. (42ページ)台風被害を受けた移植地のその後は？何にも生えない？

訂正

(訂正と言うかあいのりなのですが、人のカードですし)

1. (4ページ)「干潟とは(定義)」→干潟域の定義とは+0.2m~+2.2mで正しいのか？その根拠は？というか+0.2m~+2.2mって何？

高江洲委員(新たな疑問等)

1. 人工ビーチや宿泊施設は西海岸のリゾート施設と本当に競合できるのか？
2. 物流中心の新港や工業団地の近くにある埋立地に観光客は魅力を感じるのか？
3. 県内で企業立地が進まず埋立地が放置されているケースが目立つ中、第一区域相当分を上回る需要があるとの見通しは甘くないか？見通しの根拠が不十分ではないか。
4. 年間宿泊需要を56万人と見込んでいる予測の根拠が不十分ではないか？
5. 宿泊需要の推計値の基礎データが1992年時点での調査報告との指摘は本当なのか？
6. 埋め立て地の地盤は本当に大丈夫なのか？
7. 新たな雇用について具体的な推計値はどうなのか？

高江洲委員(新たな疑問等)

8. 県や市の財政への影響について、抽象的な記述になっている為、根拠が不十分で納得性に欠けるのではないか。
9. 土地の購入について、需要のごとに購入して売却するスキームになっているが、売れない土地は県の負担になるとの理解でよいのか。
10. その場合、県の財政に影響を与える事になるのではないか。
11. 事業効果に見合った必要経費との認識は包括外部監査人の報告と齟齬があるのではないか？
12. みなとまち懇談会で出されたアイディアはどの様に活かされているのか。
13. 三位一体改革の影響で緊縮予算を強いられる中、約500億の負債、39億の公債費を抱える当市が、インフラ費だけでも91億円にのぼる負担になるのは、やはり大きなリスクではないのか。
14. 「環境への配慮」については、他の資料も参考にしつつ、専門家の解説をお願いしたい。

當山委員(新たな疑問等)

1. 事業のよって生み出される人工干潟は、喪失する干潟の面積と比較すると、とても小さい気がしますが、既存の干潟が担っている役割のどれだけを担っていけるのか。
2. 現計画規模に見合う土地需要が顕在化していくと想定される根拠はどのようになっているのか。
3. 陸域へのアクセスが2箇所となっているが、埋め立て地内から発生する交通需要に対応できるのか。
4. 住宅地が計画されているが、災害時の対策はなされているのか。

比嘉委員(新たな疑問等)

1. どんな事業なのか…P3

- ① 事業の目的がうたってあるが、特色(コンセプト)が無く、新しい町が埋立地にできた…程度のインパクトしかない。
- ② 明確なコンセプトを出せないか？

2. 今、事業を進める意義は…P5

- ① 新たな雇用の機会創出とあるが、沖縄市民からの採用でなくては意味が無い。雇用の条件付けは？
- ② 企業の本社を誘致しなければ税収入はないと思うが、条件付けは？

3. 中城湾港新港地区の状況…P7

- ① 約1,600名が働いているとあるが、地元から新規に雇用されたのは何人か？
- ② FTZ区域の土地利用が未だあまり進んでないとあるが、その原因と当初の見通しは？

4. 沖縄市及び周辺の社会経済状況(その1)…P8

- ① 県内で最も多い人口増の要因は？

比嘉委員(新たな疑問等)

5. 沖縄市及び周辺の社会経済状況(その2)…P9

- ① 他市町村に比べ失業率が高い要因は？ 要因に対応した雇用施策でないとなら解決にはならないのでは
- ② また、軍用地主が多く働かなくていいという状況はないのか？
- ③ 市外から誘致した企業は繁栄し、その結果、市内の企業が厳しい状況になる可能性はないのか？

6. 沖縄市及び周辺の社会経済状況(その3)…P10

- ① 純生産額や市民所得が減少傾向にある要因は？ 要因に対応した施策が必要

7. 沖縄の海岸線の状況…P13

- ① 海岸線を観光資源とするのは分かるが、単にレクリエーションの場や見るだけの観光ではなく、地域にお金が落ちなくては意味がない。海を生かしたショッピングモールのコンセプトも重要であると思うが具体的イメージはあるのか？

比嘉委員(新たな疑問等)

8. あらためて事業の意義について…14P

- ① 中心市街地と連動したまちづくりとあるが、今回の事業の最も重要なテーマである。その意味において現実的で実現可能な具体的策が本事業の成功を左右すると考える。それを示せないと、このすばらしい意義の説得力がない

9. 埋立後の土地利用の見通しは？…15P

- ① 県と市が実施した土地需要確認作業とはどのような方法か、またそのデータが見たい
- ② 確認作業は今後も随時行うとあるが最新のデータも合わせて見たい
- ③ 見通しを誤った時のリスクアセスメントは行ったか？

10. 県や市の財政への影響は？…17P

- ① 土地造成の財政負担は少ないと理解したが、むしろ、できて後の維持管理を含めた収支計画が重要であるが試算書はあるのか？あれば開示して欲しい。

比嘉委員(新たな疑問等)

11. 事業の進捗状況と今後のスケジュールは?…22P

- ① 仮に市長から埋立の中止が下された場合、ストップできるのか?
- ② 中止した場合、復元に要するコストは市が負担するのか?

12. 環境へはどう配慮しているのか?…23~26P

- ① 環境保全・創造検討委員会と環境監視委員会の目的と役割は?
- ② 両委員会の情報公開の方法と継続期間は(埋立後も存続するのか)?

13. 希少な生物の保全をどう考えているのか?…28P

- ① 希少な生物の生息環境をしっかりと保全することを約束し、事業実施の合意形成が図られたとある。「約束」とは、責任を取るということだが誰がどういう形で責任を取るのか?

14. 全体を通して

- ① 理解を深めるための資料となっているが、抽象的表現で具体性に欠ける
- ② 事業のコンセプトが明快でない
- ③ 事業の推進意義に終始しており、事業後の負担や財源等の説明がなされてない

藤田委員(新たな疑問等)

1. 全体的には、環境への配慮でのデータに比べ、事業の意義や土地利用で扱われるデータは、内容的に貧弱に思える(人口統計資料や県の一般的な資料に基づいたものがほとんどである。シミュレーションなどは行われていないのか?この手の事業はそういうものなのか?)。
2. 本資料は、環境に関して、「泡瀬干潟の持つ価値や生息する生物についての客観的記述、学術団体(学会など)からの意見書(要望書)などの公開、事業反対者の立場や独自の環境調査結果」、などがほとんど盛り込まれていないため、事業全体(事業が与える影響も含む)の理解を促す物にはなっていないと思われるが、そのように意図して作成されたものなのか?
3. 事業の意義など(スライド7)に関して、新港地区で働いている人数のうち、沖縄市に納税する人はどの程度いるのか? <埋め立て事業により、沖縄市がどの程度の経済的恩恵をうけているのかのデータが欲しい>

藤田委員(新たな疑問等)

4. 事業の意義など(スライド8)に関して、人口増が沖縄県内で最多であるというが、どのような年齢層が増加しているのか(新産児が多いのか、市外からの移入者が多いのか、リニアして帰郷した人が多いのか)? <この情報は、スライド10の「沖縄市の1人あたりの所得が周辺市町村に比べ低い」との主張を考慮する際にも必要になると思われる>
5. 沖縄市の観光ポテンシャルについて、2004年の沖縄県が実施したアンケート調査の内容を知りたい(個人旅行者とパッケージ旅行者では結果が違う可能性も考えられる)。
6. 事業の意義など(スライド13)に関して、「海を生かすための海岸線が非常に少ない」とのことはよく理解できるが、観光客や沖縄市住民が、「人工海岸」を求めているかどうかの情報はあるのか?

藤田委員(新たな疑問等)

7. 埋立後の土地利用など(スライド16)に関して、(事業反対者へ向けて?)公有水面埋立法の理解不足を指摘しているが、この公有水面埋立法(行政的に問題がなくとも、市民の生活に支障があればそれは問題だろうと思われる)を一般市民に分かり易く説明するための試みや努力はなされているか?同様の議論はおそらく環境調査データでもおこりえると考えていて、個人的には最も重要な課題だと位置づけている。

藁科委員(新たな疑問等)

1. 誰を対象とした観光産業を期待しているのか？(県内・県外・海外 P5)
2. 観光客に向けた計画になっているのか？(P5)
3. 事業者の考える『美しい海』とは？(P5)
4. 観光客の考える『美しい海』とは？(P5)
5. 那覇地区フリートレードゾーンは活用されているのか？(失敗と聞いているが P6)
6. 那覇地区FTZの問題点は分析・解消されているのか？(P6)
7. FTZ浚渫後の入居企業の見込み(P7)
8. 観光客の沖縄市周辺地域への入域者数(p11はおかしくないか?)
9. 人口と宿泊施設と観光客の関係(P12)
10. 海岸線延長と沖縄における経済の関係(P13)

藁科委員(新たな疑問等)

11. 事業は誘客資源になりうるのか？ (P14)
12. 第Ⅰ区の需要に冠する根拠資料 (P15)
13. 企業向けの立地希望アンケートの実施はできないか？ (P16)
14. 『みなとまちづくり懇談会』での意見の集約・反映の状況 (P18)
15. 環境保全・改善の為の整備は誰が行うのか？ (P19～P21)
16. 環境の維持・管理は誰が行うのか？ (P19～P21)
17. 人工海浜予定地は、水深等において海浜造成に適しているのか？ (P21)
18. 海水流動のシミュレーションは行っているのか？ (P23)
19. 環境保全の長期的な計画 (P23)
20. 自然海浜に類似した砂浜とは？ (外観・構造・機能 P25)

藁科委員(新たな疑問等)

21. 工事の管理体制について(汚濁防止膜破損・未洗浄石材など P26)
22. 環境アセスメントの評価書類の確認 (P27)
23. 新港地区の西防波堤背後にできた藻場は狙った? 偶然? (P32)
24. 藻場が形成される為の条件の分析はなされているのか? (P32)
25. 海草の手植え移植実験の場所・面積の妥当性(適切か? 狭すぎないか? P38)
26. 手植え実験は失敗との情報もある(泡瀬干潟を守る連絡会ホームページより P38~)
27. 近年、中城湾全体で藻場が減少しているようだが、原因の分析はできているのか?(一時的な状況? 全体が既に危機的状況? P41)